

2026年度

藤女子大学文学部文化総合学科

推薦等入学試験 基礎学力試験問題

日 本 語

英 語

- ・日本語・英語の試験問題と解答用紙が一緒に入っています。
- ・それぞれの解答用紙の所定欄に受験番号等を記入すること。

受験 番号	番
----------	---

基礎学力試験「日本語」

次の文章を読み、設問に答えなさい。

情報技術や人工知能、そしてロボットは、ここ数年で私たちの日常生活に必要不可欠なものとなってきました。特にロボットに注目すると、技術の進歩により、子どもたちの身近な場面でも活用されるようになっていきます。

たとえば、レストランの配膳ロボットやホテルのフロント業務を担当する接客ロボット、学校の教育用ロボットなどが挙げられます。私の自宅近くの駅にも案内用ロボットが設置されており、話しかけると乗換案内や道案内をしてくれます。3歳の長女はこのロボットをとっても気に入っており、駅に行くたびに話しかけています。彼女は駅員さんには自分から話しかけることはありませんが、ロボットには気軽に話しかけられるようです。こうしたロボットの普及に伴い、子どもがロボットをどのように認識し、どのような影響を受けるのかを明らかにすることが重要な課題となっています。

「a」子どもがロボットから学べるのであれば、学習を助けたり、深めたりする効果が期待されます。身体を持つロボットは、ジェスチャーや発話を通じて子どもにも適切な支援を提供できます。また、ロボットのセンサーを活用すれば、子ども一人ひとりに適した学習内容を提供し、それに応じた反応を示すことも可能です。

保育園や小学校では、教育環境の向上を目的としたロボットの導入が進んでいます。たとえば、子どもに簡単な言葉を教えたり、外国語や音楽に触れる機会を提供したりするロボットがすでに活用されています。また、保育士の業務を補助する見守りロボットが、子どもの安全管理に役立てられています。

小学校では、プログラミング教育や学習支援のためにロボットが使われ、子どもが楽しみながら論理的思考力や問題解決能力を育む場が整えられています。さらに、ロボットとのやり取りを通じて、子どものコミュニケーション能力やキョウウチョウウ性が高まる可能性にも期待が集まっています。

このように、保育園や小学校でのロボット導入は、子どもの興味を引き出し、学習や社会性の発達を支える取り組みとして注目されています。では、ロボットを活用した学習とは、どのようなものなのでしょうか。

私は大学院生のときから、子どもとロボットの社会的関係性について研究を行ってきました。この研究を始めたきっかけは、指導教員である板倉昭二先生から多大な影響を受けたことです。板倉先生は、ロボットなど人間以外の存在と子どもの関わりを研究する「Developmental Cybernetics」という分野を提唱し、発達研究にロボットを取り入れています。

私が子どもとロボットの研究に惹かれたのは、新しい研究領域として未来志向の科学的視点を持っていると感じたからです。ロボット技術は急速に発展しています。特にAIの導入による進化は凄まじく、高度な判断や学習能力を備えたロボットが開発されています。これにより、ロボットは「X」に動作し、フクザツな課題をこなせるようになりました。また、対話能力も飛躍的に向上しています。現在のロボットは10年前とは大きく異なりますし、10年後にはさらに発展したロボットが登場していることでしょう。

こうした環境の中で、子どもがロボットをどのように認識し、受け入れるのかを理解することは、子どもの発達を考える上で重要です。子どもとロボットの研究は、「ヒューマン・ロボット・インタラクション」という研究分野において非常に注目されています。この分野の魅力は、発達科学への貢献と、教育支援などの工学的応用が密接に結びついている点にあります。

ロボットからの学習については、就学前の子どもや小学生がロボットから言語や知識を学び、行動を模倣できることが示されています。また、多くの子どもが、ロボットと一緒に学ぶことに魅力を感じていることも確認されています。

台湾の小学生を対象とした研究では、ロボットと一緒に学んだ子どもは、ロボットなしで学習した子どもに比べて、学習意欲や満足度が高いことが示されました。日本では、人型ロボット「ペッパーくん」を用いた実験で、子どもがロボットから英語を学び、指示通りに動きを真似する様子が確認されています。

一方、子ども自身がロボットに教えることで、自発的な学びを促進する教育方法にも注目が集まっています。教育の分野では、他者に教えることで自分の理解が深まる「Learning by Teaching（教えることによる学習）」という概念があります。この考え方に基づき、子どもがロボットに教えることで、学習効果が高まるかどうかを検討されました。

実験では、3〜6歳の子どもを対象に、英会話教室でロボットを活用した学習が行われました。通常の英単語学習の授業に、人間の先生と一緒に「誤答するロボット」（先生の質問に関連した回答をするロボット）が参加します。「b」子どもは自発的にロボットに教えようとする行動をとりました。その結果、子ども自身の英単語学習も促進されました。また、ロボットに教えた単語については、実験当日だけでなく、3〜5週間後も、先生から教わった単語よりよく覚えていました。ロボットに教えるながら学ぶという手法は、子どもの学習を促進する効果があるようです。

「c」ロボットが人間の教師よりも効果的とは限りません。4〜5歳児を対象とした語彙学習の研究では、人間またはロボットが新しい物体に名前をつける映像を見せた後、子どもがその名前を覚えたかをテストしました。

その結果、5歳児はロボットからも語彙を学習していましたが、人間から教わった場合の方が正答率が高いことがわかりました。さらに、4歳児は、人間からは学習できましたが、ロボットからは正確に学習できませんでした。このように、ロボットを通じた学習の効果には年齢による違いがあり、人間と比べると学習効果は十分ではない可能性があります。

ロボットは私たちの身近な存在となり、教育の場でも活用が進んでいます。②人の対話を通じた学びには特有の利点があります。人間の保育士や教師は、豊かな感情表現や子ども一人ひとりに合わせた柔軟な対応ができるため、子どもは安心感や共感を得ることで学習意欲が高ま

り、理解が深まります。一方、ロボットは決められたプログラムに従って特定の反応を示すため、一貫したフィードバックの提供や反復学習の支援に基づいた指導には優れているものの、子どもの感情や状況の変化に応じた柔軟な対応には限界があります。

ただし、*自閉症の子どもにとっては、ロボットが有効な学習ツールとなる可能性があります。自閉症の子どもは、対人コミュニケーションに苦手意識を持つことが多いですが、ロボットはシンプルで一貫した反応を示すため、安心して学べる環境を提供しやすいとされています。②自閉症の子どもを対象とした研究では、人間よりもロボットから学ぶ方が学習効果が高い場合があることが示されており、ロボットへの興味が学習効果に寄与することも指摘されています。

ロボットを学習支援として効果的に活用するためには、子どもの発達段階や学習の目的に応じた設計が重要です。特に、子どもが安心して興味を持って学べるような対話の質や、状況に応じた柔軟な対応が求められます。

個人的には、ロボットが人間に代わって教師になるのは難しいと考えています。ロボット技術には限界があり、人とのコミュニケーションを通じた学びには、単なる知識の習得以上の価値があるからです。また、人間がロボットに依存しすぎるのも望ましくないと考えます。

とはいえ、ロボットがいることで学びの場が広がり、子どもが楽しみながら新しい知識やスキルに触れることができるのは、大きな利点です。人間の教師や保育士とロボットがそれぞれの強みを生かし、互いに補い合いながら学習を支援することが、効果的な学習環境を作る③カギとなるでしょう。

ロボットは、教育をより多様で「Y」にし、子どもの興味や学習意欲を引き出す存在として、大いに活躍することが期待されます。

*自閉症：発達障害の一つで、他者との情緒的な関係形成やそれを支える種々のコミュニケーション能力などといった社会性の側面に困難さを示すことが多い。

(奥村優子『赤ちゃんは世界をどう学んでいくのか』光文社、二〇二五年。本文を一部改変している)

問一 傍線部①～⑥のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部⑦～⑩の漢字の読みを答えなさい。

問三 空欄「a」「b」「c」にはそれぞれ接続詞が入る。それぞれに入る接続詞などとして最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。
(ア)すると (イ)しかし (ウ)もし (エ)なぜなら

問四 空欄「X」と「Y」にそれぞれ入る言葉として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。
(ア)排他的 (イ)魅力的 (ウ)象徴的 (エ)自律的

問五 二重傍線部(1)について、この実験に「顧客するロボット」を参加させることによつてどのような効果を狙ったのか、四〇字程度で答えなさい。

問六 二重傍線部(2)について、人との対話を通じた学びはロボットと比較してどのような利点があるのか、具体的に記した箇所を三〇字程度で抜き出さなさい。

問七 二重傍線部(3)について、自閉症の子どもが人間よりもロボットから学ぶことによる学習効果が高い理由について、適当でないものを、次の①～④の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 自閉症の子どもは、対人コミュニケーションに苦手意識を持つことが多いため。
- ② ロボットはシンプルで一貫した反応を示すため。
- ③ ロボットへの興味が学習効果に寄与するため。
- ④ 年齢が幼いほどロボットから教わる語彙の学習効果が高いため。

問八 本文をよく読んだ上で、ロボットの教育への活用について、著者がどのように考えているかを一〇〇字以内で記しなさい。

次の英文を読み、設問に答えなさい。

Sorting out the relationship between power and leadership can be confusing. Is using power the same as exerting leadership? Does having power automatically make you a leader? (1) Power and leadership are obviously interdependent; however, they are not interchangeable. While power can exist without leadership, leadership cannot exist without power.

We define power as *the ability to influence others*. Leadership is impossible without power since a leader must modify attitudes and behaviors. Yet influencing others does not automatically qualify as leadership; (2) power must be used in pursuit of group goals to merit leadership classification. Imagine a robber armed with a semiautomatic weapon* bursting into a bank, ordering everyone to lie on the floor. The group obeys. The bank robber certainly exerted power—a very (A) manifestation of power. We would not label him a “leader,” however. His power was exercised only on behalf of his own interests. In other instances, powerful individuals do not use their power and thus fail to take a leadership role. The small-group member who knows the most about a topic would be a natural candidate for group leadership. However, this person may refuse to participate in the group’s discussion.

Leadership experts Warren Bennis and Burt Nanus summarize the relationship between power and leadership this way: “(3) Power is . . . the capacity to translate intention into reality and sustain it. Leadership is the wise use of this power. . . . Vision is the commodity of leaders, and (4) power is their currency.”

(5) Being powerful is like being a lady. If you have to tell people you are, you aren't.

—Margaret Thatcher

If power is the “currency of leadership,” then understanding the sources and uses of power (6) [effective, essential, is, leadership, to]. The ability to influence others can be based on a wide variety of factors. John French and Bertram Raven have isolated five primary sources of power, and they are *coercive power, reward power, legitimate power, (7) expert power* and *referent power*. You probably prefer to use one or two of these power

bases more than the others.

(Adapted from *Leadership: A communication Perspective*
by Michael Z. Hackman & Craig E. Johnson, pp.136-137.)

注

a semiautomatic weapon 半自動小銃

問1 下線部(1)の意味として最も適当なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に書きなさい。

- ① 権力とリーダーシップは相互に依存しているが、同じものとして扱うことはできない。
- ② 権力とリーダーシップは相互に依存しているので、明らかに影響し合っている。
- ③ 権力とリーダーシップは無関係とはいえないが、権力に無頓着なリーダーもいる。
- ④ 権力とリーダーシップは無関係とはいえないので、リーダーは権力を求めるものだ。

問2 下線部(2)の内容として最も適当なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に書きなさい。

- ① 真のリーダーシップは世界平和やSDGsなどに配慮した目標設定とともにある。
- ② 自らが率いる集団の目標を達成するために権力が使われてこそ、リーダーシップと呼べる。
- ③ リーダーシップを発揮するうえで何より重要なのは、目標を設定することである。
- ④ 利益を得るためにできるだけ多くの目標をたてることこそ、リーダーシップである。

問3 空欄(A)に入る語として最も適当なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に書きなさい。

- ① admirable
- ② appropriate
- ③ negative
- ④ positive

問4 下線部(3)の意味として最も適当なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に書きなさい。

- ① 権力とは、あいまいな思いを別のことばに整理しなおして明確に示す能力である。
- ② 権力とは、現実を維持しながらも部下の態度を変える能力である。
- ③ 権力とは、自らの意図を現実のものに変え、それを持続させる能力である。
- ④ 権力とは、リーダーの賢さを十分に反映させられるかどうかにかかわる能力である。

問5 下線部(4)の内容として最も適当なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に書きなさい。

- ① リーダーシップを発揮するためにはある程度のお金は必要だ。
- ② リーダーシップを持つ人はお金の管理がうまい。
- ③ リーダーにとって権力は、常に現在進行形の課題である。
- ④ リーダーは、明確なビジョンを人々に伝えるために権力を使う。

問6 英国の首相を務めたマーガレット・サッチャーが遺した下線部(5)の言葉の内容として最も適当なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に書きなさい。

- ① 淑女(lady)と自認することは、社会における力の行使を放棄することだ。
- ② 淑女(lady)は優しそうに見えるが家庭内での権力はかなり大きい。
- ③ 力のある人は、自分の力を周りの人に知らせなければそれを利用できない。
- ④ 本当に力のある人は、自分からそれを誇示しなくても自然と周りの人に伝わる。

問7 下線部(6)の[]内にある5つの語を意味の通じるように並べ替え、解答欄に書きなさい。

問8 ジョン・フレンチとパートラム・レイヴンが分類した5つの権力のうち、医師が患者に対して持つ下線部(7)の内容はどのようなものか。日本語で一つ解答欄に書きなさい。

問9 以下はこの記事のタイトルになりうる英語表現である。空欄AとBに当てはまると考えられる英単語を文中から一つずつ抜き出して解答欄に書きなさい。

Understanding the Connection Between A and B

藤女子大学文学部文化総合学科 2026年度 推薦入学試験

基礎学力試験【英語】 解答用紙

問1 []

問2 []

問3 []

問4 []

問5 []

問6 []

問7 _____

問8 _____

問9 A _____ B _____

受験番号 []

*

*この枠内には記入しないこと